

社会資本総合整備計画

いな 稲むらの ひ 火 かいどうえんせんちく 街道沿線地区 と 都市 し 再生 せいせい 整備 い 計画 びけいかく
(第2回変更)

わかやまけんひろがわちよう
和歌山県広川町

令和2年3月

(参考様式2) 社会資本総合整備計画

令和2年3月25日

計画の名称	稲むらの火街道沿線地区都市再生整備計画										重点配分対象の該当	○					
計画の期間	平成30年度～令和4年度(5年間)				交付対象	広川町											
計画の目標	<p>「広川町」の「稲むらの火」に代表される特有の歴史的資源を活かした観光周遊の創造と生活環境向上による魅力的で活気あるまちづくり</p> <p>目標1 歴史的資源と観光を結びつけた活気あるまちづくり</p> <p>目標2 町内外の幅広い世代が利用できる便利で居心地の良い公共空間の創造により、地域住民交流の活性化を図るとともに、祭礼などの伝統文化の継承に繋げる</p>																
計画の成果目標(定量的指標)	<p>①観光客数を増加させる。</p> <p>②主要施設(観光交流センター、地域交流センター)の年間利用者数を増加させる。</p>																
定量的指標の定義及び算定式											定量的指標の現況値及び目標値		備考				
											当初現況値 (H28年度末)	中間目標値 (R2)		最終目標値 (R4末)			
観光客数(年間)											163,012	175,000	180,000				
主要集客施設利用者数(年間)	※当初現況値は既設の「なごみ交流センター図書室」平成28年度実績										8,710	15,000	18,930				
全体事業費	合計 (A+B+C+D)		758百万円	A	758百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	0.0%				
交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H30	R1	R2	R3	R4				
A-1	都市再生	一般	広川町	直接	広川町	稲むらの火街道沿線地区都市再生整備計画	道路整備(町道名島・上中野線、町道日東・八幡線、町道広西53号線)、高次都市施設整備(観光交流センター、地域交流センター)、稲むらの火記念公園(仮称)	広川町						758.0			
合計												758.0					
B 関連社会資本整備事業(該当なし)																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H29	H30	R1	R2	R3				
合計												0					
C 効果促進事業(該当なし)																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
									H30	R1	R2	R3	R4				
合計												0					
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業(該当なし)																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
									H30	R1	R2	R3	R4				
合計												0					
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H30	R1	R2	R3	R4
配分額	55,500	230,600			
計画別流用	0	0			
交付額	55,500	230,600			
前年度からの繰越額	0	40,266			
支払済額 (e)	15,234	62,766			
翌年度繰越額 (f)	40,266	208,100			
うち未契約繰越額 (g)	16,427	27,574			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	29.6%	10.2%			
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由	道路法線について了解が得られず、測量設計の着手に不測の日数を要したため。また、地元協議が難航し、設計業務の実施計画に遅れが生じたため。	基礎工法・高力ボルトの全国的な品薄による事業進捗遅延を避けるため、当初の設計を鉄骨造から木造に変更を要し、不測の日数を要したため。また、用地取得にあたり、地権者協議が難航し、予定外の期間を要したため。			

※ 平成30年度以降の各年度の決算額を記載。

社会資本整備総合交付金チェックシート

(都市再生整備計画事業等タイプ)

計画の名称: 稲むらの火街道沿線地区

事業主体名: 和歌山県、広川町

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等	
1)まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	<input type="radio"/>
2)上位計画等と整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
②地域の課題への対応	
1)地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	<input type="radio"/>
2)まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
3)目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	<input type="radio"/>
4)指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	<input type="radio"/>
④事業の効果	
1)十分な事業効果が確認されている。	<input type="radio"/>
2)事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	<input type="radio"/>
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1)まちづくりに向けた機運がある。	<input type="radio"/>
2)住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	<input type="radio"/>
3)継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	<input type="radio"/>
⑥円滑な事業執行の環境	
1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	<input type="radio"/>
2)交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	<input type="radio"/>
3)計画について住民等との間で合意が形成されている。	<input type="radio"/>